

こんにちは 家畜保健衛生所です

家保便り 平成 28 年 6 月

夏場の暑熱対策を確認しておきましょう（豚編）

暑熱による悪影響

肥育・繁殖豚の適温は、約 15～20℃とされています。特に 25℃を超えると注意が必要です。食欲不振がよく現れますので、食欲が落ちていると感じた場合には特に注意してください。

さらに・・・

- ・肥育豚では、増体量の低下
- ・繁殖雌豚では、繁殖障害や泌乳量低下
- ・種雄豚では、性欲低下や精液性状悪化

といった弊害を引き起こします。

対策

上手く熱を発散できる環境を作りましょう。温度だけでなく湿度にも注意が必要です。

➤ 換気・通風

温度、湿度の低下が期待できます。

➤ 畜舎の断熱

日よけや断熱材を使用し、温度上昇を防止します。

➤ 散水・噴霧

湿度が上がってしまうので注意が必要です。

➤ 新鮮な水を十分に与える

体を冷やすだけでなく、食欲を維持するためにも重要です。

➤ 飼料の工夫

食欲が落ちている場合には、栄養価の高い餌を与える、ビタミンを補給するなど、栄養不足の改善に努めます。

* 子豚（特に新生豚）では、温度が下がり過ぎないように注意してください。

家畜保健衛生所 業務第一課

〒639-1123 大和郡山市筒井町 600-3

TEL 0743-59-1700 / FAX 0743-59-1740

こんにちは 家畜保健衛生所です

家保便り 平成 28 年 6 月

夏場の暑熱対策を確認しておきましょう（牛編）

暑熱による悪影響

約 25℃を超える暑さでは、牛に**食欲不振**や**繁殖成績の低下**、**乳量・乳質の低下**などの悪影響が見られるようになります。

高泌乳、分娩前後、疾患（乳房炎など）がある場合は、重篤な熱射病を起こしやすくなりますのでご注意ください。

対策

上手く熱を発散できる環境を作りましょう。湿度が高いと熱の発散が妨げられます。温度だけでなく湿度にも注意しましょう。

➤ 換気・通風

温度だけでなく湿度の低下も期待できます。

➤ 畜舎の断熱

日よけや断熱材を使用し、温度上昇を防止します。

➤ 散水・噴霧

湿度が上がってしまうので注意が必要です。

➤ 毛刈り

熱の発散を助け、体温が下がると言われています。

➤ 新鮮な水を十分に与える

体を冷やすだけでなく、食欲を維持するためにも重要です。

➤ 飼料の工夫

良質な乾草（柔らかく消化の良い）給与により、体温の上昇を抑制できます。

採食量が減っている場合、栄養価の高い餌を与える、ビタミン・ミネラルを補給するなど、栄養不足の改善に努めます。

家畜保健衛生所 業務第一課

〒639-1123 大和郡山市筒井町 600-3

TEL 0743-59-1700 / FAX 0743-59-1740

こんにちは 家畜保健衛生所です

家保便り 平成 28 年 6 月

夏場の暑熱対策を確認しておきましょう（鶏編）

暑熱による悪影響

鶏は、約 27℃を超えると**食餌量減少**などの症状を示すようになります。さらに、約 40℃を超える環境では、**開口呼吸**をするようになり、死に至ることもあります。

- ・肉用鶏では、**増体量の低下**
- ・採卵鶏では、**産卵率、卵重、卵質の低下**
 - ・・・など、生産性にも悪影響を与えます。

対策

上手く熱を発散できる環境を作りましょう。湿度が高いと熱の発散が妨げられます。温度だけでなく湿度にも注意しましょう。

➤ 換気・通風

温度だけでなく湿度の低下も期待できます。

➤ 畜舎の断熱

日よけや断熱材を使用し、温度上昇を防止します。

➤ 散水・噴霧

湿度が上がってしまうので注意が必要です。

➤ 新鮮な水を十分に与える

体を冷やすだけでなく、食欲を維持するためにも重要です。

➤ 給餌時間の工夫

気温が低い時間帯に給餌し、食餌量を維持します。

➤ 飼料の工夫

アミノ酸やビタミンCなどを添加し栄養不足を補います。重篤な場合、重曹の給与も効果があると言われています

家畜保健衛生所 業務第一課

〒639-1123 大和郡山市筒井町 600-3

TEL 0743-59-1700 / FAX 0743-59-1740